

“子どもに不安与えた” — 滋賀県に申し入れ 「ミサイル飛来の文書」の配布

日本共産党滋賀県委員会と同党滋賀県議団は、5月2日「弾道ミサイル飛来に伴う学校の対応について」の文書配布に対する申し入れ書を三日月大造知事と青木洋県教育長に提出しました。



青木県教育長に申し入れ書を渡すふしき県議

申し入れ書は「子どもたちの心に『明日にも戦争が起こるのではないか』という言いしれぬ不安をまき起こし、公的機関の広報など大人に対しての情報もない中、保護者にとっても突然のこの文書は、学校や教育委員会への批判や疑問の声を生みました」として指摘。「政府の意向に従って、多くの若者を戦場に送った苦い歴史を忘れてはなりません。教職員組合の抗議に対し『伝え方の手法が十分な形だったか検討は必要』と述べていますが、2度とこうしたことがないよう」としています。ふしき県議は、青木県教育長に強く求めました。

また、「安倍首相がトランプ政権に対して、軍事行動という選択肢ははずし、外交交渉で解決する立場に立つよう働きかけよと知事は求めるべき」と求め、ふしき県議は、対応した小林秘書課長に対して知事にしっかりと伝えるように求めました。



議会の民主化など提案—日本共産党県議団

4月招集会議(4/26)

主な提案内容

- ・議会人事については、憲政の常道の立場に立ったうえで、議長第1会派、副議長第2会派、監査委員は議員平等の原則にもとづいて基準を設定すること。
- ・質問時間は、議員の発言時間を保障するために、現在の一般質問、1人年間120分以内を見直して、増やすこと。
- ・政務活動費は、収支報告書・領収書等をホームページ公開し、透明化をはかること。政務活動費での海外視察はおこなわないことなど8項目。

4月26日におこなわれた招集会議で、自民党が、議長・副議長・監査の3役を独占しました。多数会派による横暴は認められません。

日本共産党滋賀県議会議員団は、招集会議に先立って、議会の民主的運営と、議員の質問権の保障などの提案をおこないました。引き続き民主的改善を求めていきます。

各所属委員会が決まりました。

- | | |
|--------|--|
| 節木 三千代 | 総務・政策・企業常任委員会副委員長
文化・スポーツ対策特別委員会
議会運営委員会(オブザーバー) |
| 杉本 敏隆 | 県民生活・土木交通常任委員会
琵琶湖環境対策特別委員会 |
| 藤井 三恵子 | 厚生・産業常任委員会
行財政・働き方改革特別委員会 |

県税条例に戦争法反映 ふしき県議が反対討論

県税条例の一部を「改正」する条例の専決処分の承認を求める議案に対してふしき県議が反対討論をおこないました。

ふしき県議は「安保関連法の規定によって、軽油を譲渡する場合、自衛隊の船舶の使用者に、軽油引取税を課さないとしていることは問題」とし、「安保関連法は、日本の国の『平和』とも、国民の『安全』ともまったく無縁のもので、米国が世界で行う戦争にさいして、いつでも、どこでも、どんな戦争でも、日本の自衛隊が参戦・支援するための戦争法である」と指摘し、廃案を強く求めました。

総額200億円、国体主会場予定地を視察

4月28日、明るい滋賀県政をつくる会と、日本共産党県議団で、2024年の国体主会場予定地

(彦根総合運動場)を視察。現在の陸上競技場やプールをつぶし、200億円もの巨額の施設整備をおこなおうとしています。(ふしき)



みちよの
かけ歩き(記)

国保料統一はやめよ! 地方議員団が知事に要望

4月20日、日本共産党県議団と地方議員団が、2018年4月から始まる国保の都道府県単位化の問題で要望。

国保料の統一はやめて、市町の裁量を認めるよう求めました。(ふしき)



生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3~5時まで
場所: ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2017年5月9日 発行: ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索